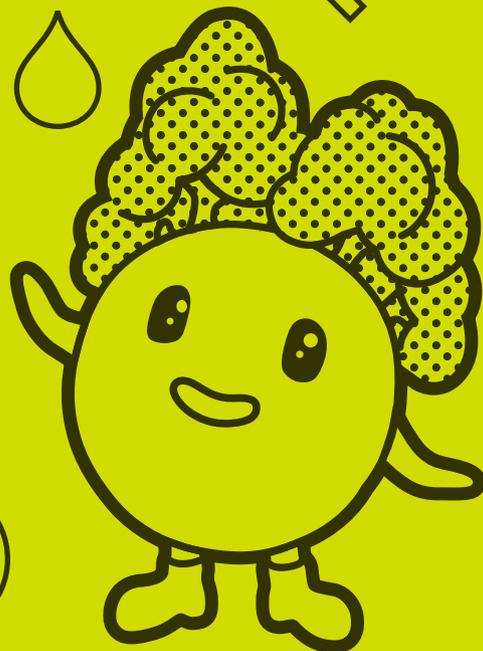
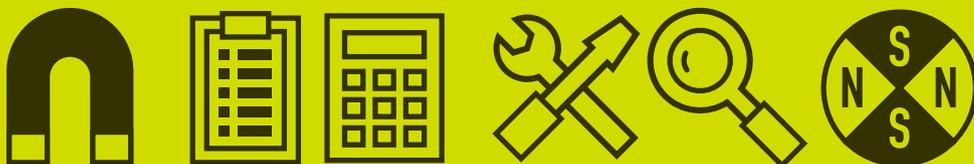
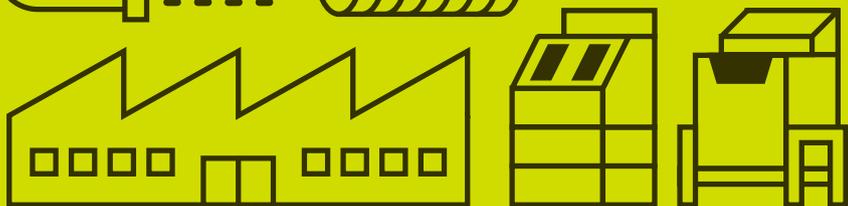
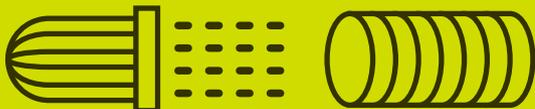
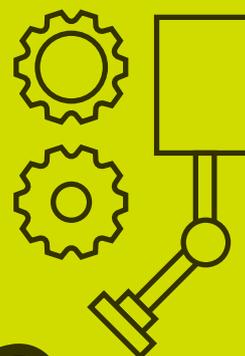


# エコテクノパーク

CANON ECO TECHNOLOGY PARK



## 地球が直面するさまざまな問題



気候変動

化石燃料を大量に使うと大気中のCO<sub>2</sub>濃度が増加して地球が温められ、異常気象や災害などを引き起こします。



大気・土壌・水質汚染

工場から出る排気などで大気が汚染され、有害な物質が川や海に流れこむと水質汚濁になります。



エネルギー・資源枯渇

天然ガスや石油などの化石燃料や、レアメタルなどの鉱物の埋蔵量は有限といわれています。



廃棄物問題

電子機器は使用後に適切な処理をしないと環境や人の健康に悪影響をおよぼす可能性があります。



生物種の絶滅

気候変動や森林伐採、河川の汚染などにより生態系が変化すると、生物が生息できず多様性が失われます。



エコアンパサダー 土勇

### 世界の 取り決め

#### 持続可能な社会に向けて社会課題の解決をめざす「持続可能な開発目標 (SDGs)」

貧困問題をはじめ、気候変動や生物多様性、エネルギーなど世界中で取り組むべき課題の解決に向け、国連が「持続可能な開発目標 (SDGs)」として、「17の目標と169のターゲット」を採択しました (2015年9月)。

#### 気候変動問題の解決をめざす「パリ協定」

2015年12月に開催された気候変動枠組条約締約国会議 (COP21) において、世界の平均気温の上昇を2℃未満に抑える「パリ協定」が採択されました。

# キヤノンはサステナブルな社会の 実現に向けて積極的に取り組んでいます

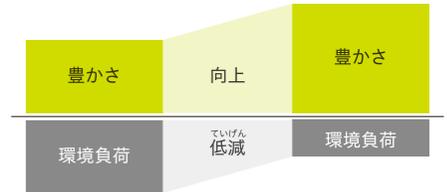
## 環境の取り組み

### キヤノンの環境ビジョン「ACTION for GREEN」

キヤノンは、豊かな生活と地球環境が両立する社会を実現するために、環境ビジョン「ACTION for GREEN」のもと、「つくる」「つかう」「いかす」といった製品ライフサイクル (製品の一生) を通して環境活動に取り組んでいます。



豊かさ  
環境が両立する未来のために



### 少ない資源で製品をつくり出す「資源生産性の最大化」

キヤノンは、限りある資源を有効活用し、最小の資源で最大の価値を生み出す「資源生産性の最大化」を環境保証活動の基本的な考え方としています。

## サステナビリティの取り組み

すべての人々が文化、習慣、言語、民族、地域などあらゆる違いを超えて共に生き、共に働き、互いに尊重し、幸せに暮らす社会。

そして、自然と調和し未来の子どもたちに豊かな地球環境を引き継ぐことのできる社会。キヤノンは持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでいます。

キヤノンの環境や社会に関する取り組み、ガバナンス体制などはサステナビリティサイトでご紹介しています。

<https://global.canon/ja/sustainability/>



今までも これからも  
サステナブルな社会を  
目指して

# キヤノンエコテクノパークは サステナビリティ活動の発信拠点です

## 高度な資源循環を追求する最新鋭リサイクル工場とショールーム

茨城県坂東市の、筑波山を望む広大な敷地に建つキヤノンエコテクノパークでは、複合機・トナーカートリッジ・インクカートリッジなど、使用済み製品のリユースやリサイクルを行う最新鋭の工場とショールームを備えています。また、社屋は夏季の遮熱に加え、冬季の集熱を利用した空調システムを導入するなど、省エネルギーとデザインの両立を図っています（CASBEE\* Aランク取得）。なお、キヤノンエコテクノパークはキヤノン株式会社の委託を受け、キヤノンエコロジーインダストリー株式会社が一般の工場見学、小学生向けの工場見学と来場型環境授業、オンライン環境授業を運営しています。

\* CASBEE：建築環境総合性能評価システム（Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency）

延床面積：約74,200㎡

開所：2018年2月



1階 CARS-T



1階 再資源化エリア



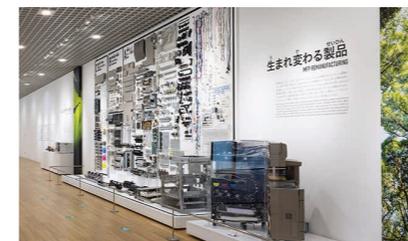
1階 プロローグ

**サステナビリティ活動の  
発信拠点へ**

エコテクノパークは、サステナビリティ活動の発信拠点へと順次リニューアルしていきます。ショールームにはインタラクティブシステム、見学通路には最新のリモートカメラを導入し、わかりやすく臨場感のある見学が可能です。

### 工場見学

キヤノンのサステナビリティの取り組みを紹介するショールームと、クリーン&サイレントな最新鋭のリサイクル工場をご覧ください。



### 工場見学+環境授業

理科の実験を通して、キヤノンのトナーカートリッジリサイクルで実際にに行われている分別工程を体験します。効率的な資源の分別方法を学び、理科の楽しさや資源循環の大切さを伝えます。



### オンライン環境授業

2021年、コロナ禍ではじまったオンライン授業。対面で行っていた環境授業をベースに、クイズやデモなどを通して楽しくSDGsや資源循環を学ぶことのできる双方向型のプログラムです。



## 見学マップ

### プロローグ

インタラクティブシステムによるサステナビリティのクイズに挑戦してみましょう。

### ショールーム

キヤノンのサステナビリティの取り組みをご覧いただける展示スペースです。

### プレゼンテーションルーム

キヤノンのサステナビリティの取り組みを4K映像でご紹介します。

### コミュニケーションルーム

さまざまなレクリエーションを行うことができる大きなスペースです。

### 複合機再生エリア

使用済み複合機をもう一度使えるように再生しています。

### トナーカートリッジ仕分けエリア

集荷されたトナーカートリッジを画像によって自動で仕分けします。

### CARS-T エリア

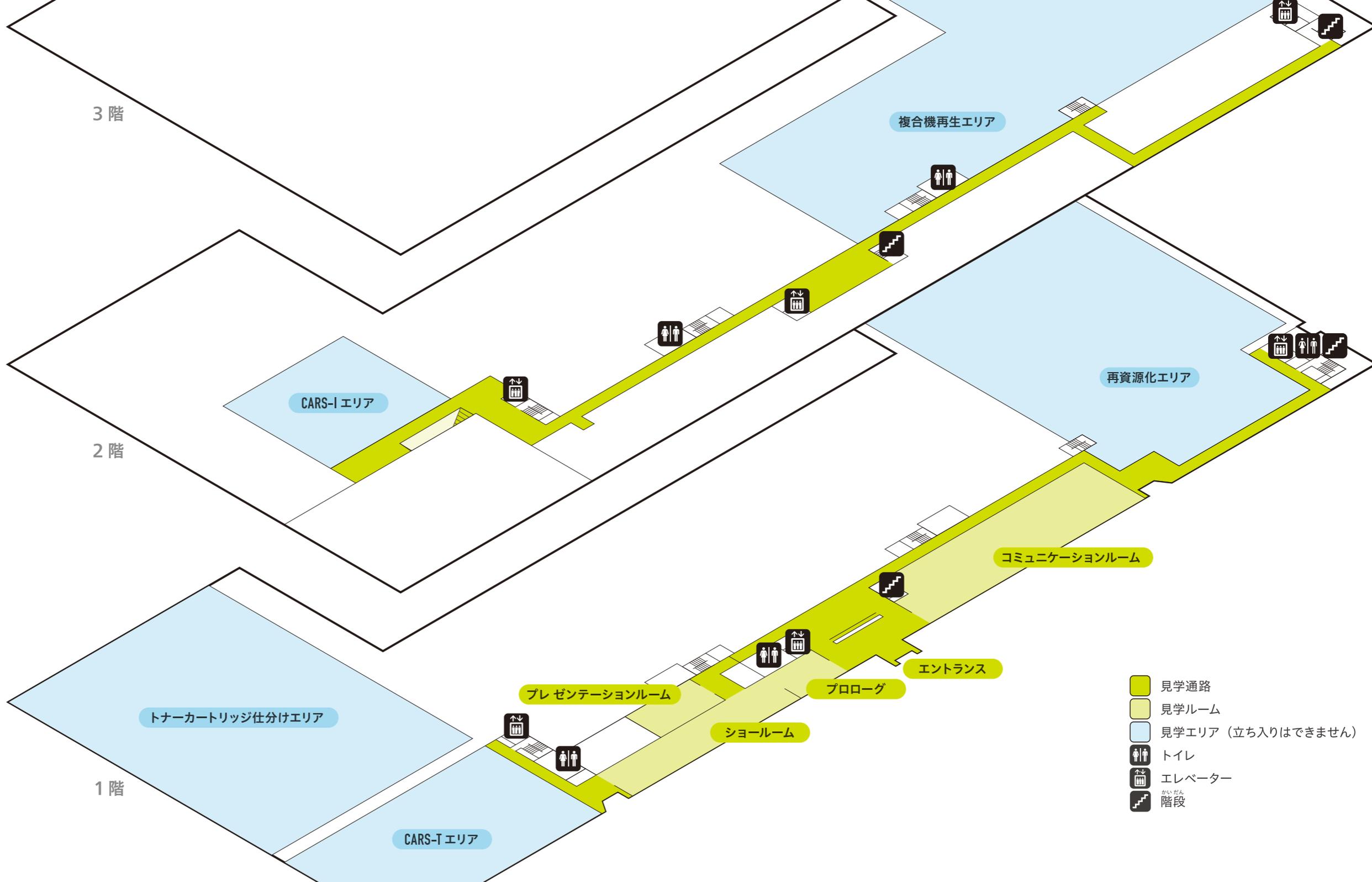
自動装置でトナーカートリッジをリサイクルしています。

### CARS-I エリア

自動装置でインクカートリッジをリサイクルしています。

### 再資源化エリア

複合機などの事務機器をリサイクルしています。



- 見学通路
- 見学ルーム
- 見学エリア (立ち入りはできません)
- ♂ トイレ
- ↑ エレベーター
- ↕ 階段

# 使い終わった複合機はリマニュファクチャリングによって 新品同様に再生しています

## 使用済みの複合機を分解し新品同様の品質に再生

リマニュファクチャリングとは、回収した使用済み製品を再生すること。

回収した製品を部品レベルにまで分解して、劣化・摩耗した部品を取り除き、清掃して再使用します。

新しい部品のみでつくられた製品と同レベルの品質・信頼性を確認したのち、Refreshedシリーズとして出荷します。



### 回収・分別

回収した使用済み製品の受入チェックを行います。



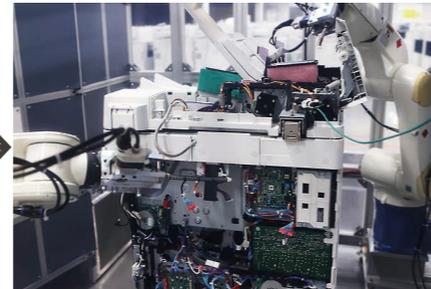
### 本体分解

外装カバーやユニット、部品を取り外します。



### 本体清掃

本体のフレームや外装カバーを清掃します。



### 本体組立

フレームに部品や外装カバーを取り付けます。



### 検査

新品と同じ検査を行います。



### 出荷・販売

新品と同じ梱包をし、市場へ出荷します。



### ユニット分解

ユニットを部品レベルまで分解します。



### 部品清掃

分解した部品をすみずみまで清掃します。



### ユニット再生・部品交換

必要な部品を修理し、劣化・摩耗品を交換します。



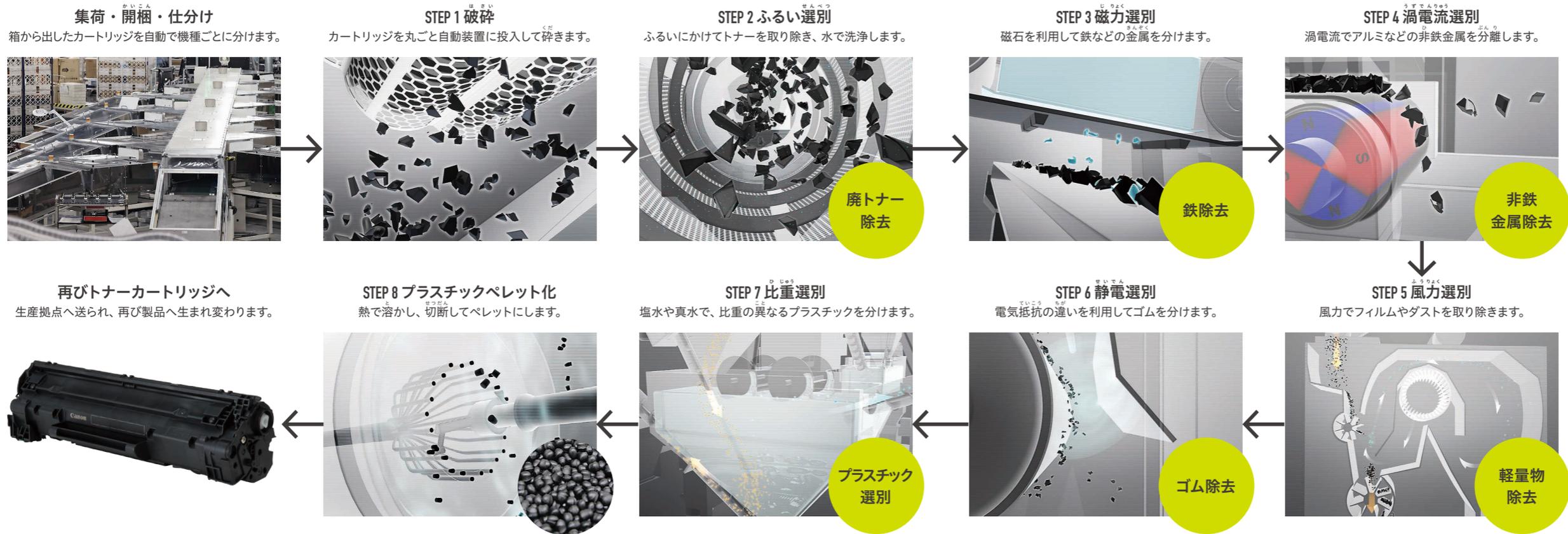
まるで  
新品みたい  
だね!



# 使い終わったカートリッジからも、 大切な資源を徹底的に取り出します。

## トナーカートリッジのクローズドループリサイクル

キヤノンは、使用済みトナーカートリッジから取り出したプラスチック材料をトナーカートリッジの原材料として繰り返し再利用する「クローズドループリサイクル」を行っています。材料の分別はクリーン&サイレントな自動リサイクルシステム CARS-T で実現しています。



## インクカートリッジのリサイクル

使用済みインクカートリッジはカメラにより自動で識別。解体、粉碎、洗浄までの工程を自動で行います。

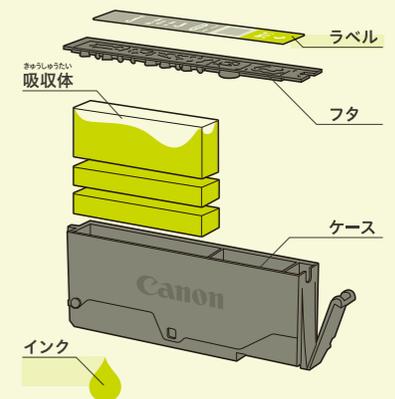
### 画像選別

カメラによりカートリッジを識別します。



### 解体

カートリッジを素材ごとに解体します。



# キャノンエコテクノパーク

茨城県坂東市馬立 1234 番地



つくばエクスプレス守谷駅（西口）から

- 関東鉄道バス（岩井または猿島バスターミナル行き）  
岩井局前下車 [約 40 分] → タクシー [約 5 分]
- タクシー [約 30 分]



東武アーバンパークライン（東武野田線愛宕駅）から

- 茨城急行バス（岩井車庫行き）  
岩井局前下車 [約 35 分] → タクシー [約 5 分]



車で直接

- 常磐自動車道谷和原インターより  
国道 294 号線 [約 20 分] → 国道 354 号線を坂東市方面へ
- 圏央道坂東インターより [約 10 分]



詳細は Web サイトをご覧ください

- 工場見学の申し込み
- 小学校向け環境授業の申し込み
- 小学校向けオンライン環境授業の申し込み
- その他お問い合わせ



**Canon**  
キャノン株式会社

〒146-8501 東京都大田区下丸子 3-30-2 global.canon

©Canon Inc. 2023 Printed in Japan